

愛知学院大学歯学部同窓会愛知県支部

会報

第 99 号

平成23年3月



役員新年会

平成23年1月12日(水)

於：名古屋マリオットアソシアホテル
17階「ルピナス」



巻頭言

愛知県支部 副支部長 須賀 均
(11回生)

阪上支部長の下、副支部長を拝命して早1年と11カ月が経過しました。年度末が近付いて、もう間もなく任期満了になろうとしています。今期「大学、歯科医師会、同窓会の協力体制模索」という基本的な考えでの事業執行に参加させていただきました。具体的には、平成22年度第1回班長会で、愛知県歯科医師会兜森正道常務理事の「医療保険講習会」、浅田一史医療管理部部員の「医療安全に関する講習会」等々で、愛知県歯科医師会と愛知県支部との多少の連携は図ったものの、私の力不足から、踏み込んだ連携までは至らなかったと反省をしております。次期、更なる強固な連携が取れる事を祈念しております。

さて、愛知県歯科医師会におきまして、いよいよ新会館建設が具体的に始まります。現在の場所に新築するため、約1年半の間事務所機能を代替事務所としてお借りする産業貿易館西館に移すことになります。

3月19日からの連休を利用して現会館から引っ越しをするため、それ以降の事務手続きは産業貿易館西館の方をお願いいたします。場所は現会館から外堀道路沿いに0.6kmほど西に行った場所にあり、その9階フロア-全部と、6階フロア-のほぼ半分、合計約1,189㎡がそのスペースとなります。

その後4月から現会館の解体工事を、6月から基礎工事を開始し、最終的には平成24年9月には、地上6階、地下1階、延べ床面積6,650㎡の新会館が完成する予定です。「県民・会員のため何が最も有効か。」に主眼を置き進めてまいります。しばらくの間ご不自由に関しまして、ご理解をお願い申し上げます。

いよいよ役員の任期交代時期が近づいてまいりました。悲喜こもごもいろいろあるかと思えます。「同窓会においては大学、同窓生のため。歯科医師会においては県民、会員のため。」という基本的な考え方を押さえて、頑張っていたきたいと思います。

いろいろと、お世話になりました。

— 同窓会愛知県支部選挙管理委員会報告 —

次期執行部の支部長並びに監事の決定につきましては、ハガキで会員諸氏には、すでにお知らせ致しました。再度「会報」にてお知らせ致します。

愛知県支部選挙管理委員会
鈴木元八（4回生）
服部健三（7回生）
岩井正彦（13回生）

同窓会愛知県支部
選挙管理委員会

告示 4 号

平成23年 2月10日

愛知学院大学歯学部同窓会
愛知県支部選挙管理委員会

支部長・監事の決定について

現執行部の任期満了に伴う、支部長及び監事の選挙についての告示をした結果、

支部長 阪上 隆則 君（5回生）

監 事 水谷 茂樹 君（9回生）

金澤 俊文 君（8回生）

の立候補がありました。支部選挙規約第11条4に従い

1. 支部長（5回生）阪上 隆則 君

1. 監 事（9回生）水谷 茂樹 君

（8回生）金澤 俊文 君

を、次期愛知学院大学歯学部同窓会愛知県支部の支部長及び監事として、決定したことを告示します。

以 上

お 知 ら せ

第34回代議員会・第35回定時総会

日 時：平成23年 4月17日（日）

代議員会 14：00～

定時総会 代議員会終了後～

場 所：ローズコートホテル

〒460-0011 名古屋市中区大須4-9-60

TEL 052-269-1811

各局活動状況

渉 外

第5回歯科衛生士フォローアップセミナー

平成22年11月7日(日)12時30分より愛知学院大学楠元学舎図書館4F大教室にて、歯科衛生士界のカリスマ、土屋和子氏を講師にお招きして、「信頼される歯科衛生士を目指してー正しい事を正しく伝えても人は動かないー」と題してご講演を賜りました。内容は主に、前半は患者に信頼されるような接し方、特に患者の五感に対して敏感に対応することについての総論、後半は先生が臨床で心掛けている各論的なお話を頂戴しました。

今回のセミナーについては、同年7月3日開催の医療懇談会にて、県下衛生士学校同窓会関係者にお集まりいただき協議した上ご協力をいただいたところ、教室のキャパシティー一杯の557名(内訳:歯科衛生士366名、歯科衛生学科生179名、歯科医師12名)の受講者でした。県下衛生士学校、同窓会や愛知県歯科衛生士会による開催周知と、「カリスマ歯科衛生士、土屋和子氏」というビッグネームの講師選定が、このような満員盛況という結果をもたらしたのだと思います。歯科衛生士関係者が500名以上一同に集まることなど愛知県内では前代未聞であり、当日は主催者側も嬉しい悲鳴を上げながらも無事セミナーの終了を迎えることができ、講師の土屋先生をはじめ、関係者の皆様にご厚誼申し上げます。

フォローアップセミナーごとに毎回行っているアンケートについても、歯科衛生士資格取得者288名と歯科衛生学科学生148名、計436名からご回答をいただき、より信憑性の高い結果を得ることができました。

参加受講者の年齢構成は、20歳代が過半数かつ受講者の30%以上が学生と若い参加者が多かったが、30歳代、40歳代、50歳代と各年代満遍なく参加され、中には、30年以上歯科医院に勤務し続けている受講者が2名見られ、歯科衛生士は生涯の資格であり、その資格を活用しようとする意識の高さが上昇していることが伺えました。講演内容については、90%以上の受講者が満足、分り易かったとの意見をいただきました。一方、別項目としまして、歯科衛生士が勤務する歯科医院の選択基準として、勤務時間や賃金体系も大切であります、歯科医院内の人



土屋 和子 先生



間関係が重要視される一方、結婚、出産など一時的な休職を経てカムバック後の再就職に関しては、家庭を持つこともあり人間関係よりも勤務時間が重要視される結果を得ることができました。同窓会の先生方もこの結果を参考にされてはいかがでしょうか。

セミナーに参加した受講者は概ね、勤務する歯科医院でもこのような自己啓発的な話術を参考にしたいという意識も高いようで、このようなセミナーの継続とさらなる充実を熱望されているようです。今後も、歯科衛生士のさらなるスキルアップのため、土屋氏のような、患者が歯科医院に来たくなるコミュニケーション能力とテクニックに秀でた講師を選定し、より充実したセミナーを企画していきたいと考えております。(渉外 高田)

第21回愛知県歯学同窓会懇話会

平成22年11月13日(土) 18:30より、全国の歯学部同窓会・校友会の愛知県支部の代表が一同に会する愛知県歯学同窓会懇話会が名古屋クラウンホテルにて開催されました。

今年度は、昨年度と同じ21校の参加となりました。本校からは阪上支部長はじめ副支部長、専務、渉外理事、各局常務理事のほか監事2名の参加もあり総勢93名の参加者となりました。

会は梶村専務の司会進行の下で、須賀副支部長の開会の辞で始まり、阪上支部長の幹事校挨拶、県歯会長宮村一弘先生の来賓挨拶、各同窓会・校友会の出席者紹介と続き、大阪歯科大学同窓会愛知県支部会長の長谷川 勲先生



の乾杯の御発声の後、各人の懇談へと進んでゆきました。

今年も、あちらこちらでいくつもの懇談の輪ができ、お酒も進み、楽しい時間もあっという間に過ぎてゆきました。例年以上に盛り上がった会となり本会の目的でもある親睦も大いに深めることができました。来年度も本校が幹事校を務めさせて頂くことを決定して、最後に内堀副支部長の閉会の辞で会も終了となりました。ご参加いただいた先生方、どうも有難うございました。(渉外 加藤)

平成22年度 歯科医師・歯科技工士 合同セミナー

平成23年2月6日(日) 10:00~16:00まで、本会ならびに本学歯科技工専門学校同窓会(技朋会)の共催による歯科医師・歯科技工士合同セミナーが本会学術局協力のもと、愛知学院大学歯学部楠元学舎第2講義室にて開催されました。

演題「現代インプラント事情」として、歯科医師、小宮山彌太郎先生「インプラントを有効な選択肢とするための留意点」と題して、また、歯科技工士、山口芳正先生「コンピューター支援によるインプラント療法」(アナログとデジタルの融合)と題してご講演賜りました。午前、午後それぞれ両講師交互に4部構成で講演が行われ、歯科医師・歯科技工士両者に大変興味深い講演となりました。

小宮山先生の主な内容は、現在のインプラント療法は、オッセオインテグレーションの獲得のみに主眼を置き、言い換えれば近未来のみを見据え、従来のインプラントが目指してきた長年月にわたる持続した安定性がないがしろにされてきているようにしか見えない。外科主導、補綴主導、上部構造主導、インプラント業者主導、自己満足型のインプラントが独り歩きしている。何よりも大切なものは患者主導型インプラントではないのか?と提言された上、症例から、失敗例を提示され、長期経過症例を交えて、術式、インプラント体の形状、上部構造の形態、適合性、咬合接触状態、リベアの可能性、再治



例をデジタルとアナログの視点から述べていただきました。

山口先生は、高度なデジタル技術には高度な技工知識と精密な技工技術が必要であるが、歯科技工士の可能性について提言されました。

今年度のセミナー参加者は歯科医師74名、歯科技工士43名、合計117名となり盛況のもと閉会いたしました。また、今回実施しましたアンケートの結果、セミナー受講者の85%が講演内容に関して満足と、回答をいただきました。今後も、アンケート結果を参考にし、より良い、充実したセミナーを開催していきたいと考えております。
(涉外 伊豆)

組 織 局

卒業生のため説明会（新入会員説明会）

日時：平成22年12月 9 日（木）16：30～

場所：楠元図書館 4F 大教室

卒業試験が終了した本日は6年生が集まる最後の機会との事、疲れている学生にさらに時間を割いてもらうのは申し訳ないのですが、毎年恒例の説明会です。本部同窓会の説明に続いて愛知県支部は、同窓会について不案内な6年生にとっては同窓会本部と支部を混同しがちであるため、本部と支部の違いの説明を詳しくお話をすると同時に、愛知県支部の名簿や組織の説明や活動状況の紙面を配布し、研修医を終わった後、愛知県で勤務・開業する場合はぜひ愛知県支部へ入会してたくさんの人たちと交流を深め、学術を研鑽し視野を大きく持つようお話をさせていただきました。さらに、開業する場合も歯科医師会にも入会するようにとのお話をさせていただきました。最近、歯科医師会および同窓会未入会者（支部）が増加しておりますが、歯科という狭い領域ですので一匹狼にならずに地区の先生方とうまくやっていただきたい気持ちが伝わってほしいなあと願っております。

療の可能性、機能維持とメンテナンスのしやすさ等、医療の本質について解説していただきました。

地域密着型の診療体系をとる歯科医師にとってインプラント療法は毒にも薬にもなると、
(Das Beste Oder Nichts メルセデスベンツ創業者の言葉を引用して) 歯科界全体のことにについても言及されました。

山口先生の主な内容は、CAD/CAMによるインプラント上部構造製作は精度の良いものであるが、作業工程途中や最終仕上げはアナログである手作業が必要であり、それにより、大きく結果が異なる。また、高度なデジタル技術が多用されたインプラント埋入シュミレーションソフトであるノーベルガイド（CTデータを利用しバーチャル・プランニングを行い、インプラント埋入用サージカルガイドプレートとプロビジョナルレストレーションの製作するもの）においても、人間作業のアナログとうまく融合してこそ、良い結果を得られる。そのインプラント長期症例の経過観察からの考察と、CAD/CAMやノーベルガイドを応用した臨床

学 術 局

平成22年度 愛知学院大学歯学部同窓会 愛知県支部 支部学術講演会 報告

千種区班 高田 英明 (30回生)

平成22年12月5日(日)愛知学院大学楠元学舎110周年記念講堂にて、大学歯学部同窓会愛知県支部学術講演会が行われました。演題は、未来予想図－他国を学び、来るべきIT時代を見据えて－。講師は渡部恒雄先生(東北大学歯学部卒業 東京財団上席研究員)と鷺沢直也先生(歯科IT研究会代表 新潟県開業)のお二人でした。

渡部先生は東北大学卒業後歯科医師になられた後も、社会科学への情熱を捨てきれずアメリカに留学されました。政治学修士課程修了後外交安保政策のスペシャリストとしてアメリカのシンクタンクに勤務され、ワシントンの政策過程に近いところにおられました。アメリカでは法案を成立させる為に、アドボカシー(政策提言及び権利擁護)、ロビー(自身の利益に沿った主張を広げるための政策の提言・リサーチ・アドバイス)、シンクタンク(諸分野に関する政策立案・政策提言を主たる業務とする研究機関)の3つの機能で議会・ホワイトハウス・マスコミに影響を与えます。ADA(全米歯科医師会)では敏腕ロビイストを雇いその結果を出しているとのことでした。今年オバマ民主党が中間選挙で敗北した原因は経済改善不良が最たる理由です、その上医療保険改革法案に失敗したことも原因の1つであることは御承知だと思いますが、その際ADAは民主党・共和党両方に献金し、3つの柱を利用して団体の利益を確保する為の戦略を常に練っているとのことでした。

1955年体制が終焉し、民主党の歩みにも迷いが見られる今、我々歯科医師は個人として団体として新しい政策過程にどう向き合っていくか、アメリカを参考にしていく必要があるのではないかとのことでした。

鷺沢先生は新潟大学歯学部卒業後、新潟市にて開業。後、歯科IT研究会を立ち上げられ、

歯科展望に多くの連載をされ、現在は日本歯科医師会情報管理委員でもあるという、臨床と経営と歯科医師会活動を両立させているトップランナーです。歯科医院経営における旧態依然とした広告宣伝手法を、インターネットの爆発的普及やIT機器の低価格化という時代背景をチャンスと捉え、手順を踏んでIT機器の導入を進め、ホームページを医院の広告宣伝戦略の中核に据えた情報提供システムの構築を紹介していただきました。ホームページを活用し診療圏が2倍にも3倍にも拡大したケース、患者さんの疑問や迷いに対する情報提供型の役立つものにする事でアクセス数が増えていくケース、歯科衛生士の募集広告として活用することで患者さんから共感を得るケース、ホームページをiPadで見せてカウンセリングするケースなどポイント満載でした。

お二人共に広い視野で世界、歯科界を見る目をお持ちの講師で、我々の目の前の問題点を解決するヒントがいっぱい詰まった内容でした。

渡部先生の出身地福島と鷺沢先生の出身地新潟が歴史的に縁の深い土地柄で、もしかすると御先祖様の間でもつながりがあったかもしれないということが、前日の懇親会でわかり、当日のお二人は絶妙のコンビネーションであったこと付け加えさせていただきます。



平成22年度 地区学術講演会

春日井班 川口 剛 (18回生)

平成23年2月13日(日)に地区学術講演会が愛知学院大学歯学部楠元学舎の図書館4F大教室にて開催されました。今年度は、山形県酒田

市にて日吉歯科診療所を開業されている熊谷崇先生をお招きして御講演頂きました。今回は熊谷先生だけでなく、同診療所に勤務されている加藤大明先生、歯科衛生士の徳本萌先生のお二人にもお話を頂きました。

熊谷先生には、治療中心の歯科医療の現状では「将来にわたり健全な口腔内を維持する」という真の患者利益を達成する事は不可能であるという考えのもと、如何にして理想に近づいていくか、日吉歯科診療所で実践されてきた理念及び診療哲学、システム、データなど、長期症例をもとにお話いただきました。

加藤先生は、歯科におけるイノベーションは、早期発見、早期治療から予防への転換であり、そこに患者さんの求めるものがある。そして歯科医療の本当の価値を高めた事により日吉歯科に人が集まるのであると説明して頂きました。

徳本先生には、実際に行われているシステムについて、患者教育を含め、初診から初期治療、再評価、治療、SOT、メンテナンスとそれぞれ

れについて具体的な内容を説明して頂きました。

今回の講演では診療所の目指す姿を提示して頂きました。歯科医療の価値を高めていく為に、日々の治療も記録をとり続ける事が大変重要であり、メンテナンスを続ける事により歯科医療の本当の価値を証明していくことが大切であると知りました。

最後に、加藤実行委員長をはじめ各班の実行委員並びに県支部学術局の皆さまのご協力のもと盛況に学術講演会が開催できたことを感謝申し上げます。

厚生福祉局

「フレンチのオーベルジュ・ド・リルナゴヤランチ会食」に参加して

半田班 長坂 潔道 (23回生)

普段、フレンチに全くと言っていい位縁のない私が参加させていただいたのには、あるきっかけがありました。木曜日のランチは、わりと妻と食べに行っているのですが、そのほとんどがB級グルメで安価で満足度の高いものを好んで選んでました。多分、妻はたまにはいい所でランチをしたいと思っていたようです。そんな時、同窓会愛知県支部の厚生事業のフレンチのランチ会食を見つけたのです。私に「たまにはこういう所で食べてみない、同窓会からの補助もあるし」と言われ、たしかに、こう言うときでないとなかなか本格的なフレンチなど食べられないと思い、早速申し込みをさせていただきました。そして運よく参加する事ができたのでした。

オーベルジュ・ド・リルはミッドランドスクエア42階です。エレベーターで上がって行く目眩のするような高さで、その景色だけである意味圧倒され緊張してきます。緊張しながら席につくと、其処は窓際で栄方面が見渡せる素晴らしい場所でした。同じ席にはもう一組の先生ご夫婦がみえました。とても気さくで感じのいいご夫婦で緊張感が和らぎランチにはいる事



年 齒科医師求職申込書

受付 年 月 日

氏 名			連絡先 ☎()
現 住 所			
勤 務 先			
卒業後の 略 歴	年度卒		回生
勤 務 に 対 する 希 望 条 件	常 勤		
	アルバイト	曜日 時 ~ 時	曜日 時 ~ 時
		曜日 時 ~ 時	曜日 時 ~ 時
		曜日 時 ~ 時	曜日 時 ~ 時
	給 料	常 勤 円	アルバイト 円/時間
	勤務地、条件等に対する希望		

年 齒科医師求人申込書

受付 年 月 日

名 称				
所 在 地				
	地区	☎()		
管理者名			連絡先 ☎()	回生
状 況	歯 科 医 名	歯科衛生士 名	技 工 士 名	そ の 他 名
	治 療 台 数 台	技工の処理 1、院内処理 2、技工所委託 3、1+2		
条 件	職種・専門		経験年数 (年)	
	給 料(税込)		昇 給	年 回 円程度
	賞 与	夏 ヶ月分	賞 与	冬 ヶ月分
	アルバイト料	円/時間		
	手当(交通費)	円	手当()	円
	〃 ()	円	〃 ()	円
勤務時間			厚生施設	
採用人数	名			
時 期	1、至急 2、随時 3、年 月より 4、その他			
形 態	1、常勤			
	2、アルバイト		曜日 時～ 時、	曜日 時～ 時
そ の 他				

ができました。

料理はおいしいのは当たり前で、前菜からしてとても手が込んでいるなと思いました。食器もとても素敵で、それに盛り付けられている料理も食べるまで素材がわからないくらいアレンジが加えられているものも多くあり感心させられっぱなしでした。ランチと言う事で、デザートが何度も出てきて女性の方たちにはとてもよかったのではないのでしょうか。妻もとても満足した様で、安心しました。このような素晴らしい企画を開催して下さった、厚生福祉局の先生に感謝して、またこのような企画がありましたら参加させていただきたく思います。



新年会

日時：平成23年1月12日（水）20時～22時
 場所：名古屋マリオットアソシアホテル17階
 「ルピナス」

新年も明けた1月12日（水）20時より名古屋マリオットアソシアホテルにおいて、新年会が開催されました。阪上支部長の挨拶の後、ご来賓の小出忠孝学院長、井上峰雄同窓会会長、岡



本善博名古屋市議会議員より新年のご挨拶を戴きました。その後、長保技朋会会長の乾杯の発声で楽しい歓談に移りました。途中で渡辺正臣新愛知県歯科医師会会長も駆けつけて戴き、お酒も入り、親しい同窓の会とあって、先輩、後輩の分け隔てなく皆さん本当に楽しそうに歓談されていました。最後に金澤監事の万歳三唱のあと、内堀副支部長の閉会の辞が終わっても大勢の皆さんが席を離れること無くいつまでも楽しそうにお話しされていたのが印象的でした。

宝塚歌劇星組公演観劇

昭和区班 服部 東 (26回生)

2月3日（木曜日）12時より、中日劇場にて平成22年度最後の厚生事業である宝塚歌劇星組公演観劇が開催されました。当日は愛知県支部からは150名の参加者で、会場は宝塚ファンの方々で満員でした。第一部のミュージカル「愛するには短すぎる」はラブ・ロマンス満載の、お笑いありの内容でとても面白かったです。続いての第2部ロマンチック・レビュー「ル・ポアゾン、愛の媚薬」は、これぞ宝塚と言わんばかりのゴージャスできらびやかなショーでした。いずれの公演も主演男役の柚希礼音さんの演技は素晴らしく、さすがトップスターだと感激してしまいました。また機会があれば是非宝塚の公演を見てみたいと思いました。



弔意報告

平成22年

- 10.16 稲 沢 11回生 浅野 昭二君 ご尊父様逝去
- 10.18 半 田 5 回生 山田 益男君 ご本人様逝去
- 11. 4 豊橋田原 23回生 石川 和弘君 ご本人様逝去
- 11. 5 豊橋田原 17回生 鈴木 啓元君 ご尊父様逝去
- 11. 8 中 区 23回生 宮下 朋久君 ご母堂様逝去
- 11.15 東 区 5 回生 服部 繁夫君 ご母堂様逝去
- 11.17 尾 北 16回生 富田 清孝君 ご尊父様逝去
- 11.23 西 区 13回生 青木 高志君 ご母堂様逝去
- 11.26 海 部 20回生 杉 大介君 ご尊父様逝去
- 11.27 西春日井 22回生 片岡 宏康君 ご尊父様逝去
- 11.30 岡 崎 22回生 阿部 伸康君 ご本人様逝去
- 12. 5 豊橋田原 26回生 酒井 利政君 ご尊父様逝去
- 12. 6 知 多 21回生 鈴木 享一君 ご尊父様逝去
- 12.15 春日井 7 回生 水野 隆司君 ご尊父様逝去
- 12.26 中川区 12回生 土屋 佳久君 ご母堂様逝去

平成23年

- 1. 2 東 区 4 回生 高橋 佑臣君 ご尊父様逝去
- 1.10 知 多 16回生 加古 美裕君 ご母堂様逝去
- 1.15 千種区 3 回生 池田 篤子さん ご母堂様逝去
- 1.17 名東区 8 回生 小瀬木義彦君 ご尊父様逝去
- 1.19 東 区 7 回生 竹内 淑子さん ご尊父様逝去
- 1.23 春日井 28回生 長谷川秀樹君 ご本人様逝去
- 1.27 中村区 14回生 小林 範子さん ご尊父様逝去
- 1.31 岡 崎 21回生 内田 恭裕君 ご尊父様逝去
- 1.31 豊橋田原 9 回生 楨田 重夫君 ご母堂様逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

※お願い

愛知県支部では、規約に基づき供花を出しています。(同窓会本部・愛知県支部で一对)

お手数ですが、弔意の際には事務局迄ご連絡下さい。

同窓会愛知県支部… ☎ 052-763-2182

Fax 052-763-2355

尚、休日で事務局に連絡不可能な時は直接花屋さんへ連絡して下さい。

マスタ翠花園……………☎・Fax 052-775-5026

☎ 052-774-3051

会 計 局

日ごろは同窓会活動にご協力頂きありがとうございます。

自動引き落としによる納入の先生にはすでに納入頂いておりますが、銀行振り込みの先生には、再度2月に振込用紙と念書を郵送いたしましたので、本年度も会費納入に何卒ご協力お願い申し上げます。

平成22年度の会費納入状況ですが(H23年1月31日現在) 会員2909名中

22年度分

念書にて自動引き落としによる入金
1157名(39.8%)
セディナ(旧セントラルファイナンス)にて自動引き落としによる入金 79名(2.7%)
銀行振り込みによる入金 577名(19.8%)

合計 1813名(62.3%)

昨年の同時期と比較しますと2%の納入率低下がみられます。全体の納入率を下回っている班の班長先生は会費未納入の先生方に変態縮ですがお声をかけていただけると幸いです。

尚、事務局においては振込み用紙発送時の郵送料節減、先生方におかれましても振り込み時の手数料節約のため、県歯に入会の先生には自動引き落としの方法をご利用いただきますようお願いいたします。毎回振り込み用紙にて納入いただいている先生には、自動引き落としにするための念書を同封しております。念書に必要事項を記入し、事務局へ郵送していただければ、今年度分は振り込みによる納入となりますが、来年度分以降は自動引き落としとなります。是非この機会に自動引き落としによる納入に変更していただきますようお願いいたします。

何卒ご理解いただき、会費の納入にご協力頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

《平成22年度 会費納入率》

班 名	全体数	全体 納入者	全体 納入率 (%)	開業者 数	開業 納入者	開業 納入率 (%)
千種区	123	57	46.3	72	47	65.3
名東区	95	64	67.4	62	56	90.3
東 区	58	39	67.2	43	32	74.4
北 区	79	52	65.8	66	52	78.8
守山区	63	34	54.0	40	31	77.5
西 区	76	55	72.4	53	44	83.0
中村区	109	57	52.3	70	51	72.9
中 区	119	57	47.9	77	47	61.0
港 区	45	28	62.2	33	26	78.8
昭和区	75	39	52.0	52	34	65.4
天白区	64	42	65.6	51	39	76.5
瑞穂区	61	31	50.8	38	28	73.7
熱田区	30	23	76.7	24	22	91.7
中川区	85	64	75.3	66	62	93.9
南 区	49	39	79.6	39	36	92.3
緑 区	79	48	60.8	65	42	64.6
一 宮	147	91	61.9	101	79	78.2
瀬 戸	84	37	44.0	51	34	66.7
半 田	80	54	67.5	56	45	80.4
春日井	111	90	81.1	92	83	90.2
津 島	31	23	74.2	22	21	95.5
小 牧	50	23	46.0	39	21	53.8
尾 北	76	40	52.6	57	36	63.2
犬 山	25	21	84.0	20	18	90.0
西春日井	62	40	64.5	43	35	81.4
知 多	123	78	63.4	94	73	77.7
海 部	75	49	65.3	60	42	70.0
稻 沢	43	29	67.4	29	26	89.7
愛 豊	83	47	56.6	62	43	69.4
尾張旭	39	33	84.6	35	31	88.6
豊橋田原	112	74	66.1	84	64	76.2
岡 崎	129	80	62.0	101	72	71.3
豊 川	82	56	68.3	58	48	82.8
知 立	21	13	61.9	16	11	68.8
安 城	52	35	67.3	40	33	82.5
刈 谷	39	31	79.5	34	31	91.2
碧 南	33	20	60.6	19	18	94.7
西尾幡豆	46	31	67.4	32	24	75.0
豊 田	156	89	57.1	120	82	68.3
合 計	2909	1813	62.3	2116	1619	76.5

(平成23年1月31日現在)

書 記 局

早いものであつという間に任期満了を迎えようとしております。いつものことながら今年度の行事も代議員会・総会を残すのみとなりました。また、「会報」も今年度最終号となります。次年度も皆様方よりのご意見・ご要望等ありましたら会報の投稿も合わせてご一報の程お待ちしております。

- ・毎月の役員会の開催、資料の作成、議事録作成
 - ・「役員会だより」の作成、各班長への発送
 - ・「会報」の発刊
 - ・書記局会議の開催
 - ・第34回代議員会、第35回定時総会の開催
- 平成23年4月17日(日)ローズコートホテル
(名古屋市中区大須4-9-60)にて開催予定

愛知県支部同窓会事務局メールアドレス
shiba@sdent.aichi-gakuin.ac.jp

愛知学院大学歯学部同窓会
愛知県支部時局対策委員会報告

時局対策委員会委員長 内堀 典保

平成22年11月8日に、中川区班々長渡辺大助先生から同班7回生岡本善博君の名古屋市議会議員候補者としての推薦状交付依頼があり、それを受け、阪上隆則支部長より「中川区班7回生名古屋市議会議員岡本善博君推薦について協議されたい」という諮問がありました。

時局対策委員会では、愛知県支部役員会、同窓会本部役員会の日程もあり、FAXでのやり取りではございましたが、協議を行いました。その結果、当委員会においては、同君の5期に及ぶ名古屋市議会議員としての実績や、市議会議長としての経験を鑑み、全員一致で、同君を名古屋市議会議員候補者として最適と認め、推薦状を交付すべきであるという答申を提出いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

役員会議事録

平成22年度 第6回愛知県支部役員会

日時：平成22年11月10日（水）19：45～

場所：楠元学舎 第2会議室

1. 開会の辞
2. 氏名点呼
3. 支部長挨拶
4. 第5回役員会議事録
臨時役員会議事録
5. 報告
 - 1) 本部
 - 2) 県歯
 - 3) 専務
 - 4) 各局・委員会
6. 審議事項
 - 1) 第2回「班長会」日程・場所の件
……組織局
7. 協議事項
 - 1) 第2回「班長会」の件……組織局
 - 2) 実習を伴う学術講演会の件…学術局
 - 3) 勤務医会員への啓発活動の件…専務
8. その他（新年会の件）
9. 監事所見
10. 閉会の辞

平成22年度 第7回愛知県支部役員会

日時：平成22年12月1日（水）19：45～

場所：楠元学舎 第2会議室

1. 開会の辞
2. 氏名点呼
3. 支部長挨拶
4. 第6回役員会議事録
5. 報告
 - 1) 本部
 - 2) 県歯
 - 3) 専務
 - 4) 各局・委員会
6. 審議事項
 - 1) 実習を伴う学術講演会の件…学術局
 - 2) 岡本よしひろ名古屋市議会議員推薦
の件……時局対策委員会
 - 3) 「第34回代議員会 第35回定時総会」
日程・場所の件……書記局
7. 協議事項
 - 1) 第2回「班長会」講習会の件
……組織局
 - 2) 平成23年度予算案の件……会計局
8. その他

1) 医療問題セミナー……歯科医療問題
研究委員会

2) 新年会の件……厚生福祉局

9. 監事所見
10. 閉会の辞

平成22年度 第8回愛知県支部役員会

日時：平成23年1月12日（水）19：30～

場所：名古屋マリオットアソシアホテル
17F「ルピナス」

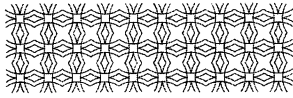
1. 開会の辞
2. 氏名点呼
3. 支部長挨拶
4. 第7回役員会議事録
5. 報告
 - 1) 本部
 - 2) 県歯
 - 3) 専務
 - 4) 各局・委員会
6. 審議事項
7. 協議事項
 - 1) 「勤務医対象成功する為のランチョ
ン開業セミナー」の件……組織局
 - 2) 平成23年度予算案の件……会計局
8. その他
9. 監事所見
10. 閉会の辞

平成22年度 第9回愛知県支部役員会

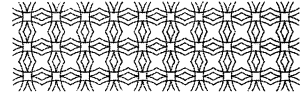
日時：平成23年2月2日（水）19：45～

場所：楠元学舎 第2会議室

1. 開会の辞
2. 氏名点呼
3. 支部長挨拶
4. 第8回役員会議事録
5. 報告
 - 1) 本部
 - 2) 県歯
 - 3) 専務
 - 4) 各局・委員会
6. 審議事項
 - 1) 平成23年度予算案の件……会計局
7. 協議事項
8. その他
9. 監事所見
10. 閉会の辞



近 況 報 告



尾張旭市長
谷 口 幸 治

愛知学院大学歯学部同窓会愛知県支部の皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

尾張旭市は、昭和45年12月に愛知県内27番目の市として誕生し、昨年の12月1日には、市制施行40周年を迎えることができました。奇しくも12月1日は私の誕生日でもあり、何かの縁を感じます。

思えば今から40年前の市制施行当時、私は26歳になったばかりでした。まさか40年後に市長となり、市政運営を任されることになるとは、想像すらしておりませんでした。それでも、生まれ育ったふるさとの、これから大いに発展するであろうと高揚した憶えがあります。そして今、まちを見渡しますと、その風景の変化に驚くとともに、ここまで発展を続けてきたことに深い感慨を抱かずにはおられません。市制施行40周年記念式典では、多くの皆様から祝福や励ましのお言葉を頂戴しました。大変厳しい社会情勢の中、ここから先の道程は決して楽観できるものではありませんが、そのお言葉の一つひとつを、これから進む険しい道程への糧として、大切に心に収めさせていただきました。

また、昨年4月からは、まちじゅうに笑顔があふれ、元気になれるような各種の40周年記念事業を実施してまいりました。本当に多くの市民の皆様が力を結集して、記念事業を盛り上げていただき、大変感謝しております。様々なイベントに参加された方々の笑顔が強く印象に残

っており、この笑顔をぜひとも、未来へつなげていきたいと考えております。

さて、第90回全国高校ラグビーフットボール大会が12月末に、高校生ラグーマンの聖地である東大阪市の近鉄花園ラグビー場で開催されました。愛知県の代表として出場した尾張旭市の旭野高校は、文武両道を掲げた県立高等学校で、積極的なボランティア活動を展開し、地域社会との交流を通して、地域に愛され信頼される存在であります。創部36年目を迎え、質実剛健な活動を積み重ねてきたラグビー部は、数多の強豪校がひしめく中、見事5年ぶり2回目の花園出場を勝ち取りました。全国大会の出場報告に選手たちが市役所を訪れてくれました。チームの持ち味は、ミスでリズムが崩れても、苦しい時に支え合えること。モットーは、楽しくプレーすることなどを聞かせていただきました。そして、大舞台でも楽しくプレーする気持ちを忘れずに戦ってきますと健闘を誓ってくれました。彼らはきっと素晴らしい試合をしてくれると確信しました。

全国大会の初戦は12月27日、強豪校の大阪桐蔭。FWの平均体重は旭野の79.4キロに対し、相手は91.5キロと圧倒的に不利な状況です。前評判では100点とられるのではといった辛口の予想もありましたが、チーム一丸となって奮闘し、先制トライを決めるなど相手を慌てさせる場面も見せてくれました。私も声援を送りましたが結果は、10-43でノーサイドの笛を聞くことになりました。しかし、持てる力を出し切った彼らに悔いはなく、その顔は、さすがにしく輝いて見えました。年末にさわやかな一陣の風が吹き抜けた、心に響く見事な試合でした。

ちまたでは最近の若者を危惧する声を聞きますが、彼らを見る限り、本市ではそんな心配はいりません。なんとも頼もしい彼らの笑顔に心

をほぐされ、気持ちよく新年を迎えることができました。平成23年は卯年です。高く跳ねるうさぎにあやかって、暗い話題を飛び越え新たな

飛躍の一年とできるよう、「住んでよかった住み続けたい 住んでみたいまち」の実現を目指して誠心誠意、努力してまいります。



前名古屋市議会議員
岡本善博

愛知学院大学歯学部同窓会の先生方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、先日行われた「名古屋市議会の解散の賛否を問う住民投票」の結果は私にとりまして衝撃的な結果でした。

解散に賛成の方が69万人と、反対の25万人を大きく上回る数字でした。

この結果に至った原因はなかなか特定できませんが、マスコミの報道では「議員が何をやっているのかわからない」ということが大きな要因の一つと指摘されています。

私も議員活動の広報の大切さを十二分に認識しており、同窓会の先生方へもこの紙面をお借

りし、その時々話題を極力提供してまいりましたが、努力不足を改めてご指摘いただいた気がいたします。

議員の職務の内容（たとえば、福祉や子育てといったサービスの水準を決めるのは議員の役目となっています）は、市民の目に直接触れる機会は少なく、マスコミによる報道も限られたなかで、これまではともすれば、「自分の身近な方々に活動を知っていただければ」という気持ちがあったのは否定できませんが、これからは、今まではお話をする機会のなかった方々へも活動をPRしていくことが大切だと痛感しております。

「議会は一度解散せよ」という市民の皆様の声には謙虚に耳を傾け、反省すべき点は反省しつつ、皆様にしっかりと訴えていきたいと考えています。

終わりに愛知学院大学歯学部同窓会の先生方のますますのご活躍を祈念し、私の近況報告とさせていただきます。

会 員 各 位

相互扶助システムのご案内

本案内は相互扶助システム加入と同時に加入をする
団体所得補償保険の案内を兼ねています。

『相互扶助システム』ご加入のおすすめ

愛知学院大学歯学部同窓会愛知県支部の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、『相互扶助システム』がスタートし19年が経過しようとしております。みなさまからもご好評いただいております本システムの重要性をますます確信し、多くの同窓生に加入していただきたくご案内申し上げます。以下に制度の概要と加入手続きについてご案内しますが、本年より【精神障害拡張補償特約】をセットし、皆様へご安心していただけるようバージョンアップしましたので、趣旨をご理解のうえ、是非ともご加入くださいますようお願い申し上げます。

愛知学院大学歯学部同窓会愛知県支部相互扶助システム委員会

『相互扶助システム』の趣旨

時として病気やケガ、あるいは思いもかけぬことで心ならずも診療所を閉めなくてはならないことがあります。そんな時、代診医制度により緊急に診療所をみてもらえることができれば、患者さんにも家族にも迷惑を掛けず、安心してご自身の治療に専念することができるはずです。この『相互扶助システム』を利用することにより、会員は、いざという時に当委員会を經由して代診医を派遣してもらうことができます。

お問い合わせ

■相互扶助システムに関するお問い合わせ

愛知学院大学歯学部同窓会愛知県支部 【相互扶助システム】委員会事務局 担当 芝
TEL.052-763-2182 FAX.052-763-2355

■所得補償保険に関するお問い合わせ

取扱代理店 株式会社ダイマルサービス 担当 神野
〒460-0017 名古屋市中区松原1-6-13 TEL.052-323-0282
引受保険会社 株式会社損害保険ジャパン 名古屋企業営業部第一課
〒460-8551 名古屋市中区丸の内3-22-21 TEL.052-953-3894

(承認番号：SJ10-00231 作成日：2010年4月19日)

:::: 編集後記 ::::

大相撲の八百長問題が世間を騒がせ、愛知県では、知事・名古屋市長選挙並びに名古屋市市議会議員の信任投票が行われたところです。また、同窓会愛知県支部では、新支部長・監事が決まり愛知県歯科医師会会長に同窓が初めて就任することとなりました。

来期の新体制後もより一層団結し同窓会を盛り上げていく所存です。

発行所 名古屋市千種区楠元町1-100
愛知学院大学歯学部同窓会
愛知県支部
TEL (052) 763-2182
FAX (052) 763-2355

題字 故岡本清纒先生
編集兼発行人 書記局
長塚明 小島弘充
岡崎正明 松尾隆昌

印刷所
名古屋市千種区上野三丁目4-19
株式会社 インシュア